

## 新技術・製品情報

## シングル屋根改修塩ビシート被せ工法

近年の劇的な気候変動に伴う大型台風の襲来等により、既存シングルの飛散など屋根の損傷事故が多数発生している。そうした屋根の改修工事で塩ビシート防水による被せ工法の需要が高まりつつある。



台風によるシングル屋根破損



シングル葺部分飛散箇所

## ■塩ビシートが選ばれる理由

シングル屋根等の損傷飛散に対する屋上防水の改修工事では、部分的な補修であっても既存防水層撤去時に突然のゲリラ豪雨などにより雨水が浸入し、階下への漏水被害をもたらすケースが少なくない。そのリスクを回避するためには短時間での改修が必要となることから、短工期で施工可能な塩ビシート防水による機械固定工法のメリットが評価され、選定される傾向にある。また、勾配屋根の改修に際しては屋根の意匠性を考慮した“被せ工法”が主流になりつつあることも選定理由の一つとなっている。

## 【工法の特徴】

- ① 既存防水層を撤去しないため廃材が少ない。
- ② 施工に際して天候に影響されにくいいため短工期が実現。
- ③ 軽量で均一な膜厚の成形品なので防水層の品質が安定。
- ④ トップコートなどの塗替えが不要なため施工後のメンテナンス（維持管理）がしやすい。

## ■適用範囲

- ・下地：RC 下地のみに対応
- ・既存防水層（屋根材）：アスファルトシングル屋根
- ・既存断熱：非対応（新規断熱仕様には不適用）
- ・屋根勾配：30° 以下の屋根に対応

地表面粗度区分Ⅲ ※粗度区分Ⅱの地域につきましては別途ご相談ください。

基準風速 建物高さ	30m/s	32m/s	34m/s	36m/s	38m/s	40m/s
45m <	対応不可					
38m < H ≦ 45 m						
28m < H ≦ 38 m	IH ディスク工法 FL バー工法		FL バー工法			
20m < H ≦ 28 m						
H ≦ 20 m						

### 【直近の施工事例】某集合住宅屋上改修 既存 シングル屋根

既存シングル平場部非撤去 塩ビシート防水アンカー機械固定工法 (MIH - ART15 仕様)



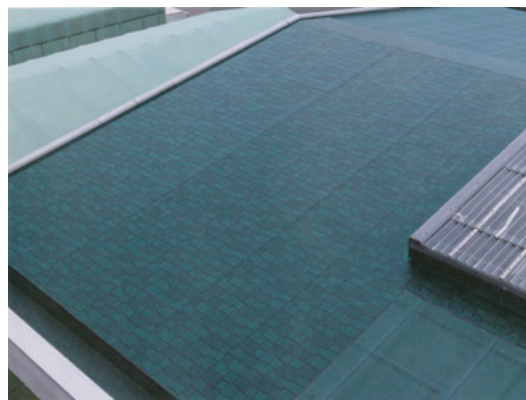
勾配に対して縦張りとする

#### 防水工程

1. 既存シングル不良個所の補修
2. FL 鋼板、IH ディスクの設置・アンカー固定
3. シート敷設と FL 鋼板の溶融着
4. シート相互の溶融着
5. シートと IH ディスクを誘導加熱接合
6. シートジョイント部のシール処理
7. 端部シール処理



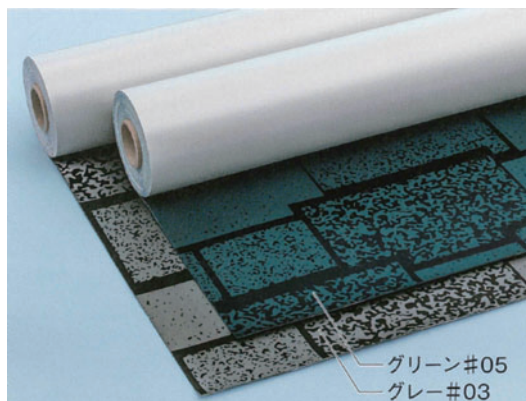
端部 F L 鋼板ブラック納まり



屋上斜屋根グリーン色



屋上斜屋根グレー色



グリーン#05  
グレー#03